

研究課題名	小腸・大腸・肛門疾患における手術治療および集学的治療の短期・長期的効果に関する観察研究
試料・情報の利用目的・ 利用方法（他機関へ提 供する場合その方法）	近年、小腸や大腸、肛門の疾患（腸閉塞や虫垂炎、憩室炎、痔など）に対する外科治療は、腹腔鏡手術の普及や新しい医療機器により、低侵襲な方法へと多様化しています。また、クローン病や潰瘍性大腸炎などの炎症性腸疾患（IBD）においては、新しいお薬による内科治療と手術を組み合わせた「集学的治療」が非常に重要になっています。一方で、高齢の患者さんや、持病をお持ちの患者さんの手術機会も増えており、一人ひとりの状態に合わせた「手術方法の工夫」や「適切な治療タイミングの決定」が、合併症の軽減や早期退院のために不可欠となっています。 本研究では、当院でこれら小腸以下の良性疾患に対して外科治療を受けられた患者さんの長期的なデータを詳しく解析します。これにより、当院における手術方法の工夫が治療成績（合併症の少なさや入院期間の短縮など）にどのような良い効果をもたらしているかを明らかにし、今後のより安全で最適な治療戦略の構築に役立てることを目的としています。 利用方法 当院の電子カルテシステムに記録されている過去の診療情報、および今後蓄積される診療情報を集計・解析します。また、手術中のアプローチや工夫を検証するため、保存されている手術動画（一部を分かりやすく編集したもの）も解析の対象とします。 集めたデータは、特定の個人を識別できないように記号（識別コード）に置き換えて厳重に管理し、完全に匿名化した上で統計的な解析を行います。研究の成果は、他の医療従事者にも共有して医療の発展に役立てるため、学会や学術雑誌等で公表される予定ですが、その際も患者さんの個人情報（氏名やカルテ ID など）が表に出ることは一切ありません。
研究対象者	2015 年 1 月 1 日 から 2030 年 12 月 31 日 までの間に、以下の「小腸以下の消化管良性疾患」に対して外科的治療（手術または内科治療と組み合わせた集学的治療）を受けられた患者さん。 ・腸閉塞 ・炎症性腸疾患（クローン病、潰瘍性大腸炎） ・虫垂炎 ・憩室炎 ・肛門疾患（痔核、痔瘻、裂肛など） ・その他、小腸・大腸の消化管穿孔 など
利用又は提供する試 料・情報の項目	本研究では、患者さんの日常診療の過程で得られた以下の診療情報（カルテデータ）および動画データを利用します。他の研究機関へデータを提供することはありません。 基本情報：年齢、性別、身長・体重（BMI）、全身状態のスコア、既往歴（過去にかかった病気）、持病（糖尿病、高血圧、透析の有無など）、お薬の内服状況（血液をサラサラにする薬など） 疾患・手術前の情報：詳しい診断名、病状の重症度、手術前の検査結果（血液検査や画像検査など）、手術前に行った治療（薬物治療や、膿を出すための処置など） 手術・治療に関する情報：手術日、手術の緊急度（予定手術か緊急手術か）、手術の方法（開腹手術、腹腔鏡手術など）、手術時の工夫、臓器のつなぎ方（吻合方法）、手術時間、出血量、手術中のトラブルの有無、手術動画（一部編集） 治療成績（経過・経過観察）に関する情報：手術後の合併症の有無とその程度（重症度）、手術後の入院日数、再手術や 30 日以内の再入院の有無 退院後の経過（病気の再燃、遠隔期に起きた腸閉塞や傷跡のヘルニアなどの有無、追

	加治療の必要性など)
研究予定期間	機関の長の実施許可日 ～ 2031 年 3 月 31 日
試料・情報の取得方法	通常診療の過程で得られます
試料・情報を利用する者の範囲	この研究はベルランド総合病院 外科のみで行います
試料・情報の管理について 責任を有する者の氏名又は機関の名称	ベルランド総合病院 院長 片岡 亨
研究に協力したくない場合	研究への試料・情報の利用についてご同意いただけない場合は、2030 年 9 月 30 日までに下記お問い合わせ先までお申し出ください。不同意の場合でも診療に不利益になることはございません。
利益相反について	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問合せ先	ベルランド総合病院 外科 川崎 誠康 メールアドレス : m_kawasaki@seichokai.or.jp 〒599-8247 堺市中区東山 500-3 TEL : 072-234-2001 (代)